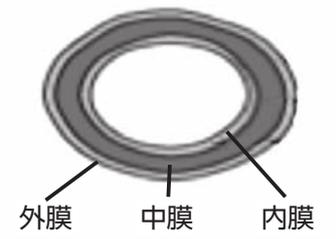
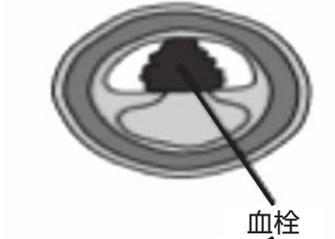


『特定健診』でわかること

特定健診は血管の老化（動脈硬化）に着目した健診です

今のあなたの血管はどれでしょう？

	正 常	動脈硬化	
		血管が狭くなる (狭 窄)	血管が詰まる (閉 塞)
血管の 横断面			
血管の 縦断面			
解説	血管は『内膜・中膜・外膜』の3層からできており、血液が流れ全身に栄養や酸素を送っています。	加齢や生活習慣病などを患うと内膜にコレステロールなどがたまり血管が狭くなって、血液の流れが悪くなります。	動脈硬化がさらに進むと、狭くなった血管に血栓（血の塊）ができ、血管が完全に詰まってしまいます。

動脈硬化が進むと、脳や心臓・腎臓などに重大な病気を起こすにも関わらず、自覚症状はなく、進行速度は個人差が大きいため、検査をしないとわかりません。しかし「治療中だから」「まだ若いから」と受診する人が少ない状況です。

◎お勧めします！ 高血圧・糖尿病・高脂血症で治療中の人

特定健診では血管の変化を早める原因を総合的に検査・判定します。

- ①内臓脂肪の蓄積度を見ます（肥満度・中性脂肪・肝機能）
- ②糖尿病に関係する検査をします（血糖・ヘモグロビンA1c・尿糖）
- ③動脈硬化を早める因子を検査します（血圧・善玉悪玉コレステロール）
- ④血管の状況を見ます（腎機能・眼底・心電図）

◎お勧めします！ 40～50歳代の働き盛りの人

動脈硬化と生活習慣には深い関係があります。若いうちほど予防ができます。特定健診を受けて生活習慣の改善点を見つけ、一日も早く健康生活をスタートさせましょう。

問い合わせ 健康推進課 ☎ 45-7216